

2学年だより

小平市立小平第二中学校
第2学年 学年だより
第40号
令和5年2月24日(金)

【スキー移動教室】

スキー教室を終えて

A組 靄井 百合子

スキー教室を終えて、私はたくさん思い出をつくることができました。

まずスキー実習での思い出です。スキーはしたことがなく、始まる前と始まって最初の頃は不安だったり、嫌だったりという気持ちの方が正直多かったです。けれど、インストラクターの方に教えてもらい、だんだんと滑れるようになっていくと楽しいという気持ちが増えました。二日目には、リフトにも乗って一日目の時の私では絶対に滑ることができないような所も滑れるようになりました。二日目の午後の実習では、ターンも習い、急な斜面でも滑れるようになりました。また、いろいろな所へ行き、いろいろな所も滑り、景色もきれいでスキーをすることが楽しくなり、好きにもなれました。あっという間に三日目となり、今までで一番うまく滑れた自信もあり、すごく楽しかったです。また、スキーがしたいなと思えました。

もう一つの思い出は、宿でのことです。部屋班の人たちとは、より仲良くなれたなと感じました。三日間、話して笑って協力して、部屋で過ごすことができてよかったです。たくさんの楽しい思い出ができました。

私はスキー教室を終えて、班の人と協力して、時間を守って行動することの大切さを学ぶことができました。

また、スキーの実習が始まるまではスキーはつまらないものだと思っていたけれど、終わったらとても好きになりました。いつかスキーをする機会があればスキーをしたいです。



スキー教室で培った根性

E組 那花 和紀

僕はスキー教室でとても多くの心構えを学びました。自分にとってスキー場は人生で一回も経験がないほどに辛く過酷なものでした。けれども、その中で得られたものは少なからずありました。

スキー場について間もなく、初めてのスキー実習が始まりました。楽に構えていたのが一転、険しい道のりへと変わりました。インストラクターからの「エッジを立てなさい」という声。僕はその手本を見て実践しようとしたのですが、板は言う事を聞かず、斜面を滑っていくばかり。「最初はこんなものだろう」と、心の中で思いながら、スキー教室一日目の眠りにつきました。

二日目、少し楽しみにしていたリフトに乗り、菅平のスキー場へと向かいました。そこで待ち受けていたのは、予想もしなかった転倒と言葉にならない冷たい痛みの連続でした。僕たちの班はリフトを降りてから、比較的易しめの林間コースを滑ることになりました。入って少しすると、目の前に経験したことのないカーブが見えました。迫りくるカーブを前に成すすべもなく、勢いがついた自分の身体は、スキー場の雪に激しく打ちつけられました。この刹那、人生で感じたことのない冷えた痛みが全身を光の如く駆け巡りました。それでも立ち上がり、コースを進んで麓まで下ろうと、痛む身体を前へ前へと押していきましたが、無慈悲にもカーブは僕の身体に容赦なく襲い掛かり、麓についたころには身も心も見事なまでに砕けていました。「エッジ!エッジ!」とインストラクターの声は耳に木霊するばかりで、二日目の滑りでも転倒は改善されませんでした。雪に倒れて周りに目を凝らせば、他の班の華麗な隊列、スキーを楽しんでいる旅行客、そして、滑れるようになっている同じ班のメンバーたち。それらすべては心をガラ

スのように深くめぐり、もはや体は動かず、休憩所で重くなった体をベンチの上に置きました。実習を振り返って、あまりの自分の未熟さを痛感し、目から流れた水滴は、休憩所の床にしみ込んでいきました。

実習三回目、昼食で体を温め、午後のスキー実習に挑みました。林間コースには楽しむという概念を捨て、敵対心をもって挑みました。「どうせ転ぶ」と思って滑った三回目。明らかに何かをつかんだような気がしました。転んで浴びせられる矢のような視線を痛く感じなくなったのです。

体は燃えるように痛いのに、心は平気でいられたのです。三回目を滑りきって確信に変わった何かが消えぬうちに四回目の林間コースに向かいました。襲い掛かるカーブを前に、身はひらりと横を向き、憎きカーブをターンでかわし切りました。その瞬間、疲労が全て吹き飛ぶような興奮を覚えました。カーブはめげずに、僕の体を雪にたたきつけましたが、転ぶことに慣れすぎたおかげですぐ立ち上がり、カーブを避けていきました。最後のカーブにさしかかる前の直線で山際に見えるとても大きい夕陽を見て、今までの苦労はこの美しい景色を見るためにあったのかなと思いました。二日目の実習の帰りにて、インストラクターに「お前は根性だけは一番ある。」と激励の言葉を受け、午前との時間とは違う感情が目から溢れそうになりました。

三日目の朝、二日目の夜に熱を出し、四階の別室で孤独な夜を過ごしましたが、二日目の実習の最後の感情を反芻し、朝には熱を下げ切りました。三日目の実習に参加できなかったのは、少し残念でしたが、自分の心の中はすでに幸せで満たされていました。そして全ての実習は終了し、菅平高原に別れを告げ、小平市に無事帰還し、スキー教室の全日程は終了しました。

僕は、このスキー教室を苦で終わらせることなく、幸せで終わらせることができました。それができた最大の要因を、転ぶうちに育っていった根性によるものだと思います。とても痛く、辛い思いをしたスキー体験でしたが、それによって味わえる感動を知ることができたので、機会があればまた、スキーに行ってみようと思いました。



保護者の皆様へ

- 学年末テスト2日目が終了しました。今回は日程の関係上、祝日や休みが入るため、モチベーションの維持や集中力を保つのが難しいこともあるかと思います。お休みの日も学校と同じような生活リズムが保てますようご支援お願いいたします。
- 保護者会出欠票のメ切が22日(水)まででした。まだの方のご提出をお願いいたします。



- 1日(水) 都立高校一般入試合格発表
- 3日(金) 保護者会
- 6日(月) 朝礼
- 8日(水) 専門委員会・中央委員会
- 13日(月) 生徒会朝礼
- 15日(水) ②~④卒業式予行(セレモニー)
- 16日(木) ⑤⑥卒業式準備
- 17日(金) 卒業式
- 23日(木) ⑤大掃除
- 24日(金) 修了式



2月21日(火)は都立高校一般入試(第一次募集・分割前期)が行われました。

8時30分に集合し、9時から1時間目の国語が始まります。2時間目数学、3時間目英語、4時間目社会、5時間目理科を行い、3時40分にテストが終了し、解散します。来年の今頃は自分も受検をしている、という気持ちでいられるといいですね。

インターネットで [都立高校 入試問題](#) とクリックすると過去10年分の入試問題を見ることができます。